



福中だより

☆☆☆教育目標☆☆☆ 希望 創造 潤い

昭島市立福島中学校

平成31年3月1日 NO.12

042-541-2940

創立39年目(昭和55年開校)

大丈夫の試金石

校長 長野 基

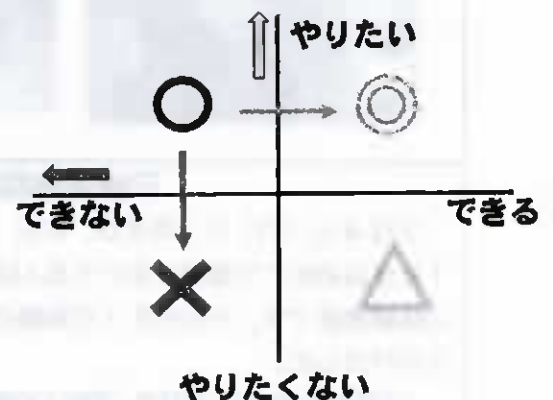
3月6日は二十四節気の啓蟄。暖かくなって土から虫が出てくる季節ということになります。2月19日の雨水あたりから、なんとなく朝の空気も柔らかくなってきたのを感じていました。花粉症の人には辛い季節かも知れませんが、春が確実に近付いています。春をイメージする表現はいろいろあります。「麗らか(うららか)」「長閑(のどか)」「水温む(みずぬるむ)」「山笑う(やまわらう)」「春爛漫(はるらんまん)」などは春の柔らかな空気や情景が目には浮かびます。もちろん「巣立ち」「旅立ち」「別れ」「出会い」など感傷的になる表現も春ならではです。

さて、今日3月1日は都立高校の合格発表日です。この日を表す表現は「悲喜こもごも」ということでしょうか。3年生にとっては大変緊張する一日です。見事第一志望校に合格した生徒もいれば、予定通りに進まなかった生徒もいます。しかし、自分の置かれた状況を常に良しと考えて前を向いて進むことが大切です。

日本の資本主義の父と呼ばれた 渋沢 栄一 さんが、著書「論語と算盤」の中で「大丈夫の試金石」ということについて書いています。発生してしまった逆境に対して、どのように対応していくかによって、その人の人としての能力が試されるということです。私たちは、日々自分の最良を目指して、自己のもてる能力を高めようと努力しています。それにもかかわらず、うまくいかないことを幾度となく経験しています。そのたびに自分は「逆境に立たされた」「もう無理」と落ち込むのです。すると、次に何か別のことに挑戦する時、自分はそのことが「できる」か「できない」かを、まず考えてしまいます。本来は「やりたい」か「やりたくないか」という思いが根底にあるはずですが、初めからできないからやらないのではなく、できないかも知れないけど、どうしてもやりたいと強く思っていると、いつの間にかできた、ということがあります。もしかしら、十分にやり尽くす前に自分で結論を出しているのではないのでしょうか。逆境というのは、自分で思い込んでいるだけなのかも知れません。

平成30年度もこの1か月で終わります。3年生は中学校の3年間を、1、2年生はこの1年間を、自分の「やりたい」という強い気持ちを常に大事にしていたか振り返って

みます。「できる」か「できない」かばかりを考えていた人が多いと思います。自分の夢を実現させるためには、「どうしてもやりたい」という気持ちが大切です。4月から3年生は新たな世界で自分と向き合い、1、2年生はステップアップした自分を見つめ、「何が分かった」で留まらずに「何ができるようになるか」を楽しみに大きな目標を見付けてくれることを期待しています。渋沢 栄一さんの「全力投入すれば道は開ける」という言葉を紹介して締めくくりとします。



第10回 中学生「東京駅伝」大会

好天に恵まれた2月3日(日)、調布市のアミノバイタルフィールド(味の素スタジアム内)において、第10回中学生「東京駅伝」大会が行われました。

福島中からは女子の部で2年2組の吉江佐耶奈さんが14区で、男子の部では2年2組の高橋秀賢くんが3区、2年1組の中丸拓海くんが12区で出場し、それぞれの区で力走しました。男子は昨年の記録を更新して「特別賞」を受賞しました。



3月の予定

- 3/1日(金) 都立一次発表
- 2日(土) 収穫祭
- 4日(月) 生徒会朝礼 3年保護者会
- 5日(火) 避難訓練
- 6・7日(水・木) 3年奉仕活動
- 7日(木) 1年福祉体験授業
- 11日(月) 都立二次(後期)試験日
全校道徳⑤ 1.2年保護者会
- 12日(火) 2年高校の体験授業
- 14日(木) 卒業式予行
- 15日(金) 都立二次(後期)発表
- 18日(月) 卒業式前日準備
- 19日(火) 第39回卒業式
- 20日(水) 特別時間割(～22日まで)
1年学年レク③④ 給食終了
- 21日(木) 春分の日
- 22日(金) 2年学年レク①② 大掃除
- 25日(月) 修了式
- 26日(火) 春季休業日(～4/7)

小学6年生による中学校体験授業

2月7日(木)と12日(火)に玉川小学校と共成小学校の6年生がそれぞれ福島中学校を訪れ、中学校の授業(玉川小は英語と社会、共成小は理科と英語)を体験しました。授業の前には、「厳しそう」「難しそう」と感じていた人が多かったみたいですが、実際に体験してどんな感想を抱いたでしょうか。3月2日の収穫祭にもぜひ来てください。



東京都中学校道徳教育研究会研究発表大会

2月15日(金)、福島中学校で「これからの道徳科の授業」というテーマで研究発表大会が開かれ、都内だけでなく他府県の中学校から大勢の先生が来校されました。

来年度から道徳の授業は、教科書を使う「特別の教科道徳」になります。今回の発表は、その取組についての提案でした。道徳の授業の取組方については、今後学校から情報発信していきます。



三味線体験授業(伝統文化にふれる)

2月4日(月)に2年生が、6日(水)に1年生が三味線体験授業を行いました。1年生は初めて三味線を手にする人ばかりでしたが、2年生は昨年に続いての2度目の体験授業です。小沢先生(三味線の先生)の丁寧な指導のおかげで、楽しいひと時となりました。

「三味線の授業は2度目で、初めての時より上手に弾けるようになりました。パチの使い方や弾き方のコツをつかむことができて良かったです。とても楽しい良い経験になりました。」

2年生 徳永裕紀くんの感想

「私は、この授業をとても楽しみにしていました。音楽室に三味線が並んでいるのを見て早く弾きたくてしかたありませんでした。でも、実際に弾いてみると想像以上に難しく大変でした。何度も練習するうちきれいに音が出るようになってとても嬉しかったです。」1年生 持庵遥翔さんの感想

